

【プレスリリース】

2023 年 6 月 7 日

報道関係各位

量子ドット MiniLED など大画面液晶をもっと身近に。
4K 液晶テレビ 2023 年ラインアップ
全 4 シリーズ 13 モデルを 7 月上旬より順次発売

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社(代表取締役:孫 成周(ソン・ソンジュウ) 本社:東京都中央区)は、液晶テレビの 2023 年ラインアップとして全 4 シリーズ 13 モデルを 2023 年 7 月上旬より順次発売します。

LG エレクトロニクスは、2011 年の FPR 方式※1 3D 液晶テレビの発売を始め、2012 年には国内初のスマートテレビ※2、2013 年からは世界初となる大型の有機 EL テレビをグローバルで発売するなど、常に革新的な製品を世界に提案してまいりました。

2021 年には、MiniLED バックライトに、量子ドットテクノロジーとナノセルカラーテクノロジーを組み合わせることで、従来の液晶テレビを飛躍的に進化させた、「LG QNED MiniLED」を発表。より明るく、より深い黒を再現するとともに、鮮やかな色の表現力が進化し、まさに液晶テレビの頂点ともいえる、まったく新しい視聴体験が身近になりました。

そして今年は量子ドット MiniLED 液晶の「LG QNED MiniLED」と、量子ドット液晶の「LG QNED」をはじめ、直下型液晶の「LG UHD TV」の計 3 つのパネルで、43 インチから 86 インチまでの幅広いサイズをラインアップします。

独自の AI 対応映像エンジン「α7 AI Processor」も第 6 世代に進化し、百万もの映像ソースを学習したリアルタイム AI プロセッサが地上波でも、ネット動画でも、あらゆるコンテンツにリアルタイムで合わせて、最高レベルの映像体験を生み出します。新機能の「パーソナルピクチャーウィザード」は、テレビの画質調整に詳しくない方でも、より簡単に、ご自身にあった画質でご視聴いただけるよう開発した、LG 独自の技術です。画面の案内に従って、表示された画像から好みの画像を選択することで、AI が判別し、8500 万通りの中から、最もユーザーの好みに近い映像モードを提案します。

サウンド面でも、「AI クリアサウンド」や「オートバランスコントロール」などの新機能を搭載。AI が今見ている映像のジャンルを分析し、ドラマ・スポーツ・映画・ニュース・音楽の 5 つに分類。それぞれのジャンルに合わせたサウンドへ調整し、臨場感あふれるバーチャル 5.1.2ch サウンドの立体音響に変換します。

操作性においては、独自 OS が「webOS 23」に進化。「マイプロフィール」や「クイックカード」によって、これまで以上に、見たいもの、知りたいことにすぐアクセスできるようになりました。多彩なネット動画アプリにも対応し、幅広いジャンルの作品が LG のテレビだけで楽しめます。NETFLIX や Disney+をはじめとする主要アプリはもちろん、2023 年モデルでは、新たに「TVer」のアプリを追加しました。LG は今後も、新時代のスマートテレビライフを提案していきます。

※1: FPR 方式とは Film Patterned Retarder(フィルム偏光)方式のこと

※2: OS 搭載=アプリダウンロード方式のテレビ



LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社

〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階

<https://www.lg.com/jp>

<発売概要>

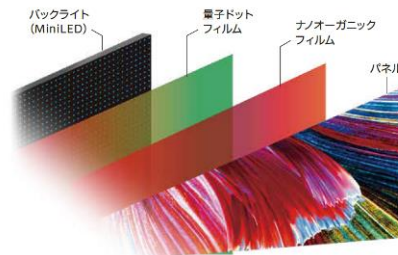
シリーズ	品番	画素数/ パネル	インチ	価格(予想実売価格・税込)	発売 予定日
QNED85JRA	86QNED85JRA	4K/ LG QNED MiniLED	86	オープン価格(720,000 円前後)	7 月上旬
	75QNED85JRA		75	オープン価格(500,000 円前後)	
QNED80JRA	86QNED80JRA	4K/ LG QNED	86	オープン価格(590,000 円前後)	
	75QNED80JRA		75	オープン価格(380,000 円前後)	
	65QNED80JRA		65	オープン価格(300,000 円前後)	
	55QNED80JRA		55	オープン価格(200,000 円前後)	
	50QNED80JRA		50	オープン価格(180,000 円前後)	
QNED75JRA	43QNED75JRA		43	オープン価格(140,000 円前後)	8 月下旬
UR8000	75UR8000PJB	4K/ LG UHD TV	75	オープン価格(260,000 円前後)	
	65UR8000PJB		65	オープン価格(190,000 円前後)	
	55UR8000PJB		55	オープン価格(160,000 円前後)	
	50UR8000PJB		50	オープン価格(130,000 円前後)	
	43UR8000PJB		43	オープン価格(110,000 円前後)	

※2022 年発売の「LG LED TV」(フル HD)の「32LX7000PJB」は継続販売予定
 ※UR8000 シリーズは標準リモコンが付属しています。マジックリモコンを使用する場合は、別売りの「MR23JP」(2023 年製)が対応します。

■ 主な特長

【進化した新基準の量子ドット MiniLED 4K 液晶テレビ「LG QNED MiniLED」】
 (※QNED85JRA シリーズ)

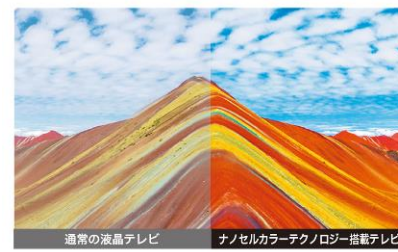
MiniLED バックライトに、量子ドットテクノロジーとナノセルカラーテクノロジーを組み合わせることにより、従来の液晶テレビを飛躍的に進化させました。より色の純度を高め、深い黒を再現することで、いままで以上に鮮やかな色を表現します。まさに液晶テレビの頂点ともいえる、視聴体験を実現します。



ナノセルカラーテクノロジー

(※QNED85JRA/80JRA シリーズ)

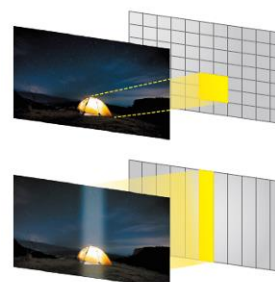
変換オーガニックフィルムをパネルに組み込むことで、緑色の純度を高めながら赤色の色域を広げる LG 独創のナノセルカラーテクノロジー。これにより、よりクリアでより鮮明な表現を可能にしました。微細な粒子が、RGB 発光時に色のにじみから発生する余分な光波長を吸収。RGB 各色の純度を高めます。



微細な粒子が、RGB 発光時に色のにじみから発生する余分な光波長を吸収。RGB 各色の純度を高めます。

バックライト制御

エリアごとに個別に光を制御できる LED バックライトを搭載。夜の闇でも、月に近い闇と遠い闇の違い、奥行き感なども緻密に再現します。



高精細直下型エリア駆動

エリアごとに細かな光の制御を実現。

エッジ型部分駆動

エッジ型LEDはライン状の光をコントロールして明暗を表現。

【独自のリアルタイム AI プロセッサー「α 7 AI Processor Gen6」】

※QNED75JRA と UR8000 シリーズは、「α 5 AI Processor Gen6」搭載のため、機能が異なります。

ジャンルやシーンをリアルタイムに検出し、音を強化することで最適な映像体験を演出

テレビの心臓部ともいえる映像エンジンに、人工知能を統合させた AI 対応映像エンジンを搭載。何百万もの映像ソースを学習したリアルタイム AI プロセッサーが第 6 世代に進化し、地上波でも、ネット動画でもあらゆるコンテンツに合わせて、最高レベルの映像と音響で映し出します。視聴している映像のジャンル(シネマ・スポーツ・アニメーション・スタンダード)だけでなく、シーン(夜景・街並み・自然・スタンダード)ごとに自動で認識。それぞれのシーンに合う設定を自動で適用します。さらに、AI が今見ている映像のジャンルを分析し、ドラマ・スポーツ・映画・ニュース・音楽の 5 つに分類。それぞれのジャンルに合わせたサウンドへ調整し、臨場感あふれるバーチャル 5.1.2ch サウンドに変換します。

<AI 映像プロ>

地上波のスポーツや、ネット動画で観る映画など、さまざまな映像ジャンルを AI が自動認識し、最適な画質に変換。人の肌を自然なトーンにし、解像感のあるクリアな映像にします。

<ダイナミックトーンマッピング>

1 フレームごとにトーンマッピングを行い、トーンカーブを最適化することで、より自然で美しく、鮮やかで繊細な色表現を実現します。

<ダイナミックビビット処理>

肌の色をナチュラルに保ちながら、さらに細部までの鮮やかな映像再現で、暗部が引き締まりつつ階調豊かな映像を堪能いただけます。

<パーソナルピクチャーウィザード>

テレビの画質に詳しくない方でも、より簡単に、ご自身にあった画質で視聴いただきたいという思いから、新たな機能として、画像を選ぶだけで、ユーザー好みの画質に設定できる「パーソナルピクチャーウィザード」を開発しました。

画面の案内に従って、表示された画像から好みの画像を 1~2 枚選択し、これを数回繰り返すことで、AI がユーザーの好みを判別し、8500 万通りの中から、ご自身に最もふさわしい映像モードを視聴できるようになります。



<AI サウンドプロ>

第 6 世代に進化した「AI サウンドプロ」は、「AI クリアサウンド」や「オートバランスコントロール」などの新機能を搭載。臨場感あふれるバーチャル 5.1.2ch サウンドの立体音響を実現します。

AI クリアサウンド

音色と音の輪郭を補正します。音をクリアにすることで、まるで画面から音が聞こえるようになります。

アダプティブサウンドコントロール

ニュースなら声が聞き取りやすいように、スポーツなら臨場感を重視した音になるように、など映像のジャンル(音楽、ニュース、ドラマ、スポーツ、映画)に応じて、音声をソースに合わせて最適化します。

オートボリュームレベリング

地上波放送や YouTube など、アプリやチャンネルを切り替えると音量が急に変わることがありますが、異なる音声ソースも一定した音量レベルを保ちます。

オートバランスコントロール

音量によって、高音や低音の聞こえ方が異なるのを均一に聞こえるように自動調整。音全体が聞き取りやすくなるようバランスを調整します。

<オートサウンドチューニング>

マジックリモコンのマイクを通じて AI が音の跳ね返りを計測。マジックリモコンを持った位置をサラウンドの中心になるよう音の跳ね返りの歪みを調整し、どんな位置でもどんな姿勢でも、見ている場所がサウンドの『スイートスポット』になります。

【LG がつくりだす、新時代のスマートテレビライフ】

<さらに快適に進化した「webOS 23」>

独自 OS も「webOS 23」に進化。見たいもの、知りたいことにすぐアクセス。「マイプロフィール」機能では、アカウントごとにおすすめのコンテンツが表示されたり、ホーム画面のアプリを自分仕様にカスタムすることができます。「クイックカード」機能では、ホーム画面に「ホームオフィス」「ゲーム」「音楽」など、アプリをジャンルごとにまとめたカードが新たに追加され、カードの順番は自由に編集できるので、頻繁に使用するアプリをすぐに起動することが可能です。



<多彩なネット動画アプリ>

「観たい」にこたえる多彩なネット動画アプリに対応。幅広いジャンルのネット動画アプリが LG のテレビで楽しめます。さらに 2023 年モデルでは、新たに「TVer」のアプリが追加されました。



※2023 年 6 月現在 ※モデルにより利用可能なコンテンツが異なります。

※各アプリを使うには、インターネット接続が必要です。また、ご利用には各サービスの別途契約(有料)が必要な場合があります。

※UHD/4K のご利用は、「Netflix」視聴プラン、インターネットサービス、デバイス機能、利用可能なコンテンツによって異なります。

詳細は Netflix 利用規約をご覧ください。

※ ©2023 Disney and its related entities

※ Amazon、Prime Video および関連する全てのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

※ Apple、Apple ロゴ、Apple TV、AirPlay、および HomeKit は、米国および他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

<LG WebCam>

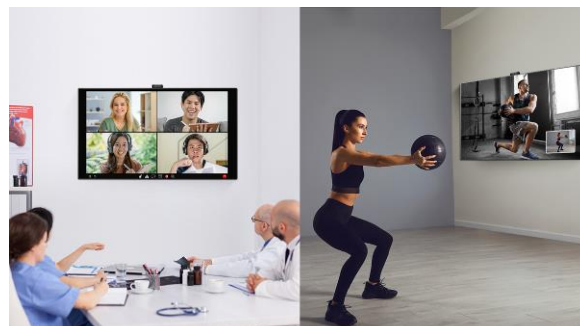
スリムなデザインで取り付けも簡単な、テレビ用別売カメラ「LG WebCam」を接続すれば、ビデオ通話で顔を見ながら話したり、オンライントレーニングでご自身の動きをチェックするなど、テレビの用途がもっと広がります。

テレビ用別売カメラ

「LG WebCam」(型番:VC23GA)

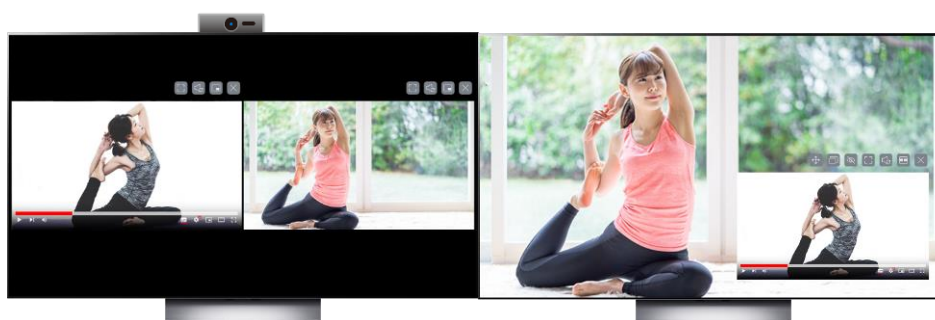
※7月上旬発売予定

オープン価格(想定実売価格:16,000 円前後)



<マルチビュー>

2 つ映像デバイスやコンテンツを同時に表示させる、マルチビュー機能を搭載。「YouTube でトレーニング動画を見る×Web カメラで自分を映す」、「地上波放送×Miracast でスポーツ中継を同時に見る」、「ゲームをしながら×YouTube で攻略動画を見る」など、より自由に 2 画面を活用できます。



ピクチャーバイピクチャー

ピクチャーインピクチャ

※本仕様は予告なく変更される場合があります

※画像はすべてイメージです

※本リリースに掲載されている社名、製品名、技術名は各社の商標または登録商標です

■ブランドスローガン「Life's Good」に込めた想い

「Life's Good」という LG エレクトロニクスのブランドスローガンは、消費者のニーズが多様化する中、より良い生活のため「世界中のお客様をワクワクさせ、感動を提供する」という想いを象徴的に表現しています。LG エレクトロニクスはこのスローガンのもと、革新的なスマートソリューションを通じた「Innovation for a Better Life」というミッションを掲げ、主役であるお客様の日常をより豊かに、より健やかに、より創造的なひとときを堪能する喜びをもたらしてまいります。また、持続可能な社会の実現に向け、循環型社会の構築に着手しています。2030 年までに、二酸化炭素排出量を 50%削減(2017 年比)し、2050 年までに再生可能エネルギーに完全移行することを公約とし、炭素排出量の削減や環境に配慮したエコプロダクト設計の製品を通して、国際的な責任を果たしてまいります。

■LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社概要

社 名: LG Electronics Japan 株式会社 (LG Electronics Japan Inc.)
本 社: 〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階
U R L: <https://www.lg.com/jp>
設 立: 1981 年 1 月
代 表 者: 代表取締役 孫 成周(ソン・ソンジュウ)
事業内容: LG エレクトロニクス製品の日本向け輸入販売業。現在は 4 事業を展開
【ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション】衣類リフレッシュ機、空気清浄機等
【ホーム・エンターテインメント】テレビ、オーディオ、ブルーレイプレイヤー等
【ビジネス・ソリューションズ】モニター、ノートパソコン、ホームプロジェクター、
デジタルサイネージ、ロボット事業等
【ビークルコンポーネント・ソリューションズ】車載用機器等

■LG エレクトロニクスについて

LG エレクトロニクスは、家電をはじめとするテクノロジーのグローバルイノベーターとして、世界中に 141 の事業拠点をもち、約 74,000 人以上の従業員を擁しています。

2022 年の世界売上高は約 83.5 兆ウォン(KRW)で、「ホーム・アプライアンス&エア・ソリューション」、「ホーム・エンターテインメント」、「ビークルコンポーネント・ソリューションズ」、「ビジネス・ソリューションズ」の 4 カンパニーを展開。テレビ、生活家電、エアコン、モニター、デジタルサイネージ、ロボット、車載用機器などを製造する世界有数の総合家電ブランドです。また、IoT 家電として様々な家電同士を連携させることで、Life's Goods な毎日を提案し続けています。詳しくは、www.lg.com をご覧ください。

報道関係者のお問い合わせ先

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社
広報担当:阿部 Email: jpn-pr@lge.com